

## ニカラグア定期報告（2021年11月）

### 【要旨】

内政・外交面では、7日に大統領選挙が実施され、75%超の得票率でオルテガ大統領が再選した（連続4選通算5期）。与党FSLN党も前期から5席増やし、92議席中75席を獲得した。選挙後、同選挙プロセスの正当性に疑義を呈していた米国及びEU等の欧米諸国は、新たに制裁対象を拡大した。12日、米州機構(OAS)は、ニカラグア大統領選挙に関する決議を採択し、これを受け、19日、ニカラグア政府は同機構からの離脱を通告した。経済面では、財務・公債省が来年度予算案を発表した。また、米格付け会社Fitch Ratingsが、ニカラグアの格付けを「B-」で維持。また、2021年の経済成長率を、5.2%と予測した。

### 【主な出来事】

#### 1 内政・外交

##### (1) モンカダ外相の第26回気候変動枠組条約締約国会議への出席

2日、グラスゴーで開催されているCOP26に、モンカダ外相、ハビエル・グティエレス大統領府気候変動担当次官等が出席した。同会合で、オルテガ大統領は、ビデオ演説にて、気候変動問題に取り組む重要性に加えて、先進国の行動・価値観の是正を訴えた。

##### (2) ニカラグア大統領等選挙の実施

7日、ニカラグア大統領等選挙が実施された。15日、当国最高選挙管理委員会(CSE)は、選挙カレンダーに従い、今次大統領選挙の暫定結果を以下の通り官報掲載した。

ウォルター・エデン・エスピノサ・フェルナンデス候補(PLC党)	14.33%	(395,406票)
<u>ダニエル・オルテガ・サアベドラ候補(FSLN党)</u>	<u>75.87%</u>	<u>(2,093,834票)</u>
ギジェルモ・オソルノ候補(GCN党)	3.26%	(89,853票)
マルセロ・モンティエル候補(ALN党)	3.11%	(85,711票)
ヘルソン・グティエレス・ガスパリン候補(APRE党)	1.75%	(48,429票)
マウリシオ・オルエ候補(PLI党)	1.69%	(46,510票)

##### (3) オルテガ大統領の演説

8日、オルテガ大統領は、革命の英雄であるカルロス・フォンセカ(FSLN創設者)没後45周年記念式典に出席し、各国からの国際選挙同行団や多くの支持者を前に、演説を行った。

##### (4) オルテガ大統領とKove Daur アブハシア共和国外相との会談

9日夜、オルテガ大統領は、11月7日の大統領選挙等において国際選挙同行団の一員として来訪している Kove Daur アブハジア「共和国」外務大臣の表敬を受けた。

(5) 新型コロナウイルスワクチン確保情報

ア 9日、COVAX ファシリティを通じたカナダによるワクチン支援として、アストラゼネカ社製ワクチン32万6,400回分が当国に到着した。

イ 9日、キューバ政府から購入したキューバ製ワクチン「ソベラノ02」及び「アブダラ」120万回分が到着した。

ウ 13日、COVAX ファシリティを通じて、アストラゼネカ社製ワクチン13万4,400回分が当国に到着した。

エ 17日、キューバから購入したキューバ製ワクチン35万5870回分のソベラノ02及び、63万2400回分のアブダラが到着した。

(6) ニカラグアにおける変異株の確認

8日付汎米保健機構(PAHO)地域報告書は、ニカラグアで4種類の変異株(アルファ、ベータ、ガマ、デルタ)が確認された旨報告した。

(7) ワクチン接種目的による医療従事者の自宅訪問の開始

11日、ソニア・カストロ保健担当大統領顧問は、10日夜からワクチン接種を目的とした医療従事者による自宅訪問が開始したと発表した。同訪問は、ニカラグア国内全域で無料で実施される。

(8) OAS を巡るニカラグアの動き

ア 16日、ニカラグア国会が、「ニカラグア共和国の内政へのOASの度重なる干渉に対する宣言」として、OASからの離脱を求める決議を83票の賛成多数で承認した。

イ 19日、ニカラグア外務省は、米州機構(OAS)からの離脱を要請する書簡をアルマグロOAS事務総長に送り、同機構からの離脱を通告した。

(9) 民間人の出国禁止措置強化

16日、ニカラグア政府は、ニカラグアからの出国禁止対象者に企業家等の民間人を追加した。

(10) キューバ国民への査証免除

24日、ニカラグア政府は、同日以降ニカラグアへの入国を希望する全てのキューバ国民に対して査証を免除することを決定した。

(11) 30日付市民監視団体の新型コロナウイルスに関する発表概要

ア 11月18～24日の期間に全国で8件の感染及び感染疑いが報告され、累計31,222名となった。

イ 上記の期間に新型コロナウイルスの感染疑いで死亡した人は2名報告された。累計死者数は5,947名となった。

ウ これまで累計1,393名の医療従事者のCOVID-19感染疑いが報告され、また累計235名の死亡が報告された。

(12) 11月30日付保健省(MINSA)の新型コロナウイルスに関する週間レポート

ア 23日から30日までの間に、保健省は102名のCOVID-19陽性であると診断されたニカラグア人に対して、責任をもって注意深いフォローアップを行った。また93名がフォローアップ期間を終了した。

イ パンデミックが始まってから今日までの間、保健省は合計13,397名に対し、責任をもって注意深いフォローアップを行った。

ウ この1週間の間に、COVID-19に起因する1名の死亡が確認された。(当館注:累計死者数は212名)また肺血栓感染症、糖尿病、急性心筋梗塞、高血圧及び細菌性肺炎によって、複数のフォローアップ対象者が死亡した。

エ 本日までに、13,082名のニカラグア人が回復した。

2 ニカラグアに関する海外情勢

(1) 米国によるニカラグア選挙改革強化法案(RENACER法)施行

2日、米国上院議会でニカラグア選挙改革強化法案が可決し、5日に米国下院議会可決後、10日バイデン大統領の署名により同法が施行された。

(2) ニカラグア大統領選挙に係る米国及びEUによる声明

ア 7日、バイデン米大統領は、今次ニカラグア大統領選挙にかかる批判声明を発表した。

イ 8日、ボレル EU 上級代表は、今次ニカラグア大統領選挙にかかる批判ステートメントを発表した。

(3) 第51回 OAS 総会におけるニカラグア決議の採択

ア 10～12日、グアテマラで開催された第51回米州機構(OAS)定例総会(オンライン形式)において、34カ国中25ヶ国の賛成多数で、今次ニカラグア大統領選挙は民主的正当性を有していないとするニカラグア情勢に関する決議が採択された。

イ 29日、OAS 常設理事会は、上記2(3)アの決議に従い、ニカラグア情勢について議論した。

(4) 米国、英国及びカナダによるオルテガ政権に対する制裁対象拡大

ア 15日、米国財務省はニカラグア検察庁及び政府関係者9名を新たに制裁対象に指定した。

イ 15日、英国政府は、ムリージョ副大統領を含むオルテガ政権幹部8名を、新たに制裁対象に加えた。

ウ 15日、カナダ政府は、オルテガ政権幹部11名を新たに制裁対象に追加した。

エ 16日、バイデン大統領は、ニカラグアにおける民主主義を悪化させる人物に対して、移民か移民でないかを問わず、米国への入国を禁ずる措置を発表した。

(5) ロシア他からの大統領選挙当選の祝辞

ロシア、キューバ、北朝鮮他から、オルテガ大統領当選の祝辞が寄せられた。

### 3 経済

(1) 格付け会社 Fitch Ratings によるニカラグア情勢及び経済の展望

9日、米格付け会社 Fitch Ratings は、今次大統領選挙結果を受け、政治的不安定リスク及び将来的な海外からの資金確保の制限が生じる制裁リスクはあるとしつつも、直近の経済指標が好調であることを理由として、ニカラグアの格付けを「B-」で維持。また、2021年の経済成長率を、5.2%と予測した。

(2) 2022年国家予算案の承認

15日、財務・公債賞は、2022年度国家予算案を発表した。同予算案は、56.8%を公共投資、公共サービスの保障を重点課題とした社会・経済公共政策実施に充て、そのうち、22.2%を保健分野、23%を教育分野に利用し、引き続き中小企業に対する支援も行うとしている。2022年の歳入は、915億4280万コルドバ、歳出は、918億220万コルドバを見込んでおり、赤字にあたる約2億5900万コルドバは、他国からの無償援助や借款で賄う予定である。

<主要経済指標>

	2019年	2020年	2021年		
			9月	10月	11月
インフレ率（対前年同月）	6.1%	2.9%	3.49%	4.27%	未発表
貿易収支（百万ドル）	▲1,655.6	▲1,559.9	未発表	未発表	未発表
輸出 FOB（百万ドル）	2,696.8	2,852.0	未発表	未発表	未発表
輸入 FOB（百万ドル）	4,352.4	4,411.9	未発表	未発表	未発表
海外送金受取額（百万ドル）	1,682.4	1,851.4	175.7	未発表	未発表
外貨準備高（百万ドル/期末）	2,397.4	3,211.9	4,058.2	4034.1	未発表

（出典：ニカラグア中央銀行、インフレ率のみ開発情報庁（INIDE））

（了）